

# 1. 四街道市の概要

四街道市は、千葉県北西部に位置し、千葉市と佐倉市に隣接し、土地は平坦で市の東部を印旛沼に注ぐ鹿島川が流れております。

当地は、佐倉藩の大砲射撃場が設置されて以来、市中心部にある大土手山を着弾目標とした大砲射撃演習が行われました。明治27年(1894年)に千葉県初の鉄道として総武本線が佐倉まで開通すると、軍施設も拡大される一方、新しく設置された四街道駅周辺にも町並みが形成され併せて商業もこれに付随して興りました。大戦後は、不要となった陸軍演習場が食料生産地として開拓され、農業を中心とした平和な町へと移行していきました。軍施設は役場、学校、公民館などの公共施設に利用されてきました。

この間には、明治22年の町村施行により生まれた千代田村と旭村は、その後千代田村は千代田町へ変わり、昭和30年には千代田町と旭村が合併して四街道町が誕生いたしました。農業が中心であった町も昭和40年代の高度成長期にはいり、急速に都市化が進められ首都圏のベッドタウンとして発展し、急速な人口増加となり昭和56年に四街道市として生まれ変わりました。

平成16年には国の平成の大合併の方針に従って千葉市との合併も検討されましたが現在に至っております。

H25年3月31日現在

面積	34.7K㎡
人口	90,644人
世帯数	37,044世帯

